



河野議員

川崎市議会議員

小さな声を大切に!

No. 48

思いやりあふれる多摩区を目指して

この 河野ゆかり通信

令和6年秋号
発行所 公明党川崎市議団
発行人・掲示責任者
河野ゆかり
川崎市宮本町1番地
印刷所
株式会社ルネスランド
麻生区高石5-27-23

令和6年第2回川崎市議会定例会一般質問

河野ゆかり議員は6月24日の一般質問(6項目)に立ちました。

- ①終活(エンディング)支援
- ②ふれあい子育てサポート事業
- ③生田浄水場用地の有効利用
- ④公園における受動喫煙対策
- ⑤男性個室トイレへの
サンタリーボックス設置
- ⑥JR稲田堤駅橋上駅舎化について
その一部を報告いたします。

①終活相談窓口とおくやみコーナー窓口の連携を!

市は身寄りのない人のいわゆる「無縁遺骨」を2023年度は646人分を収蔵。身寄りのない市民の火葬費用などに年間約3億円の支出をしています。

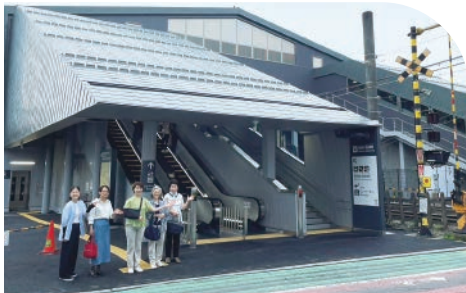
身寄りのない高齢者の身元保証や財産管理などをサポートする事業は社会福祉協議会を窓口にしてはいますが、預託金が60万円以上必要となり契約者が限られています。

河野議員は、経済的に余裕のない方が利用しやすい内容への対応を求め、更に終活に関する相談やエンディングノートも区のおくやみコーナー窓口でも案内するよう提案しました。

健康福祉局長は「金銭的に余裕のない方などが利用しやすい事業となるよう社協と協議していく」「おくやみコーナーで、終活に関する社協の相談窓口の案内やエンディングノートの配布も行う」と答えました。

河野ゆかり議員 身近な実績フォト

JR稲田堤駅自由通路完成!



30年越しの地域の願いが実現
今後、駅前空間に緊急車両の駐停車場所とベンチが設置されます。

②ふれあい子育てサポート事業のオンライン化を

市は平成11年から保育園への送迎や学校の放課後に子どもを預ける等の援助の取り組みとして「ふれあい子育てサポートセンター事業」を実施しています。支援を依頼する会員が現在891人。これに対し、ヘルパー登録者は781人と少なく、希望してもサポートが受けられない場合があります。利用しやすくするため事業のオンライン化を要望しました。

こども未来局長は「利用しやすい制度となるよう、オンライン化も含め業務効率の向上を検討する」と答弁しました。



僕はコメ助

皆さまの声をカタチに

暗い河川通路に防犯灯 菅1丁目



自転車とまれ! 路面表示 東生田3丁目



③生田浄水場用地の有効化を図り“Ankerフロントタウン生田”での多摩区消防大会を実現へ



平成27年、地域の皆様から生田浄水場用地の防災機能を整備し防災訓練場所としての活用を求める要望が提出され、河野議員は、令和2年3月と令和4年9月議会で生田浄水場用地を利用し消防大会の実施を求めました。市は「訓練活動ができるよう調整を行う」と答えましたが未だ実現していません。約束が守られていない現状を指摘し、副市長の見解を求めました。

藤倉副市長は「今後すみやかに消防団の訓練や出初式、消防訓練などに活用していただけるよう消防団、地元町内会、区役所等と連携していく」と回答しました。

④公園の禁煙化を!

河野議員が、令和5年12月議会で市の公園における受動喫煙対策を求めたのに対し、市長は「望まない受動喫煙への対策を講じる必要があると認識している。早期に方針を定めていく」と答えました。今回、その後の取り組みを質しました。

市は、「約1200の都市公園について、今年度中にパブリックコメント*を実施し、公園内における喫煙の方針をまとめ令和7年度からの禁煙化の本格実施に取り組む」と明言しました。



*市民より意見を事前に聴取すること。

人も街も輝くあしたへ 気軽に声をかけてください

身近な市政に関するご意見やご相談を下記にお気軽にお寄せください。

河野ゆかりがお聞きします 議員控室 TEL 200-3361 FAX 245-4137